15拾遺記（王嘉）

　　　㆓ 　㆒。

①レ 　レ レ ＊。

馬　氏　レ 。 太　公　レ ＊。

馬　氏　㆓ 　㆒。

太　公　㆓ 水　一　㆒ ㆓ 于　㆒、

②㆓　　㆒レ　。

　㆓ 　㆒。

太　公　、「　③　　　、

覆　水　　レ 。」

語注

＊太公…中国周代初期の功臣、のこと。と称される。

＊娶…妻として迎える。

＊産…家業。

＊封…領地を与える。

＊斉…周代の侯国。今の山東省の地にあった。

＊盆…水や酒などを入れる容器。

＊于…場所を表す助字。

問１　――線部①の主語を文中から抜き出して答えよ。

〔　　　　　　　　　　〕

問２　――線部②を書き下し文に改めよ（「令」が助動詞であることに注意）。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問３　――線部③の解釈として最も適当なものを次から選び、記号を◯で囲め。

ア　すぐに自分とは別れておいて、将来再婚しようとするが

イ　二度も自分と別れておいて、さらに再婚しようとするが

ウ　うまく自分と別れておいて、今度は再婚しようとするが

エ　自分と別れても、ほかの人と再婚できると思っているが

問４　⑴この故事から「覆水不返盆」ということわざができた。これを書き下した次の文の〔　　〕に適切な語句を補え。

・覆水〔　　　〕に〔　　　　　　　　　　〕

⑵このことわざの意味を説明した次の文の空欄を五字以上、一〇字以内で補え。

・一度してしまったことは、〔　　　　　　　 　　　　　　〕。

【解答】

問１　太公

問２　婦をして水を収めしむ。

問３　ウ

問４　⑴　〔覆水〕盆〔に〕返らず

　　　⑵　例取り返しがつかない（９字）／二度と元には戻らない（10字）

書き下し文

太公初めて馬氏を娶る。書を読みて産を事とせず。馬氏去らんことを求む。太公斉に封ぜらる。馬氏再び合はんことを求む。太公水一盆を取り地に傾け、婦をして水を収めしむ。惟だ其の泥を得るのみ。太公曰はく、「若能く離れて更に合はんとするも、覆水定まりて収め難し。」と。

現代語訳

　太公望がはじめて馬氏を妻として迎えた。太公望は書物を読むばかりで家業を仕事としない。馬氏は離婚を求めた。太公望は斉に領地を与えられ（て出世し）た。それで馬氏は再婚を求めた。太公望は盆一杯の水を取って地にこぼし、婦人〔馬氏〕に水を取り集めさせた。（しかしこぼれた水はもう集められず）ただ泥を取るだけだった。太公望が言うには、「あなたはうまく別れておいて今度は再婚しようとするが、一度ひっくり返した水は元には戻らない。」と。